



アジ研裏庭の「きぼうの桜」。今年は、例年よりも、随分早く満開を迎えました。3月26日撮影

あじけん通信

2018 APRIL
VOL.124

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

4月に入り、寒暖の差が大きかったり、初春にして既に夏日を記録したりするなど、不安定な天候が続いていますが、実習生の皆さんは、春の変わりやすい天気もなんのその、元気一杯に日本語学習に励んでいます。また、週末になると、ポカポカ陽気に誘われて、近隣の公園にお花見に行ったり、散歩に出かけて写真を撮ったりと、日本の春を満喫する実習生が多く、月曜日の朝の会話練習では、週末の出来事の話で、皆さん大いに盛り上がっています。来日前に母国で勉強した日本文化「さくら」「おはなみ」を、実際に体験出来ている喜び、感動が皆さんの話から伝わってきます。

あじけんスコープ Vol.63

講師ファイル 馬場 広子

初めまして。私は馬場広子（ばば ひろこ）と申します。

きぼう国際外語学院で日本語を教えて、8ヶ月が過ぎようとしています。実習生の皆さんは、日本の文化や習慣、気候に慣れようと毎日一生懸命な様子がかがえます。母国の発展のために、日本の進んだ技術を習得するという明確な目的があるとは言え、家族とは離れて生活することは、色々大変なことが多いでしょう。ましてや限られた時間の中で、日本語を習得しなければならないとなれば、なおさらのことと思います。

しかし、皆さんの強みは、ここ日本で、机上の学習ではない生きた生の言語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりしながら日本語を勉強出来ることです。それは素晴らしいことです。

また、自分の興味関心が高ければ高いほど、日本語も着実に身につ

いていくようです。日本語が、技術を習得する為の手段であるとしても、その国の人と、その国の言葉で話が出来る思いが伝わった時の喜びは、大きいものです。折角日本にこられたこのチャンスを活かして、言葉を楽しみ、生活を楽しみ、実習を楽しみ、そして日本を少しでも知ることは、大いに意義があることだと思います。私も、きぼう国際外語学院に勤務し、新たな学びの機会を得ました。異なる言語や異文化に対する深い関心と、共感と、理解を持ち、真の国際理解とは何か、豊かさとは何かを考え続けようと思っています。



今月の実習生



ベトナム：ホーチミン出身
PHAM BICH GIANG
ザンさん



右の写真は3月31日に小山総合公園でとった写真です。私は写真をとった人なので、この写真にはいません。その日は日暖かて、いい天気でした。公園に日本人だけでなく外国人もいました。日本人のお花見のしかたと同じにしたかったので食べ物とおしけを持って行きました。さくらの下で食べながら、さくらを見ました。おしけも食べました、日本酒ですね。お花見ははじめてだったので、さくらを見てかんがいむりよでした。白いさくらが咲いているとてもきれいです。歩いて40分かかっても、お花見をするのは面白かったです。ぜひ来年もう一度お花見をしたいです。

向かって左から、タオさん・イエンさん・チュックさん
チャンさん・ダイさん（男性）・タウンさん（男性）
ニャンさん（前列眼鏡を掛けた女性）・ホアさん



ベトナム現地日本語学校視察レポート

今回は、3月10日から（5泊6日）の日程で、日本の受入団体の方々と、現地送り出し機関の方々のご協力により実現した本校スタッフ・日本語講師によるベトナム（ハノイ市・ホーチミン市）への研修視察旅行の様子をお伝えさせていただきます。

今回研修に参加した講師・スタッフは、16名。その大半がベトナムは、初訪問だったので、自分達が想像していたベトナムという国と、実際に訪れて、五感で感じたベトナムとの違いに、皆、驚きの連続でした。また、街に溢れる大勢の若者の活気を肌で感じて、彼らが技能実習生として来日することで、日本の社会にも大きな活力を与えてくれていることを実感しました。

現地では、3つの日本語学校を視察し、授業見学、ベトナム人日本語講師の皆さんとの意見交流会、来日を間近に控えた実習生の皆さんとの日本語での交流会等が行なわれました。どの学校も、基礎的学習内容を重視したカリキュラムを用いて、ベトナム人講師の先生方が、流暢な日本語で、大変熱心に、そして、厳しく指導にあたっていて、とても刺激を受けました。また、私たちが実習生の皆さんに話しかけてみると、日本人の自然な速度の日本語がよく聞き取れずに、応答に困ってしまうことが少なくない現状を見て、私たち日本人講師が、日本での日本語指導で果たすべき役割を再認識する好機ともなりました。

実習生の家庭訪問（ハノイ2家庭、ホーチミン1家庭）では、一般的な技能実習生のとても質素な生活ぶりや、家族との深い絆を垣間見ることが出来て、ベトナム人実習生の皆さんへの理解がこれまで以上に深まりました。

今回のこの貴重な経験を活かし、これからも実習生の皆さんの実践的な日本語コミュニケーション力の育成に、講師・スタッフ一同、取り組んでいきたいと思っております。



積極的に授業に取り組む実習生の皆さん



ハノイの学校の実習生のお宅訪問



現地の実習生と本校講師の日本語での交流会



学校の食堂で昼食をとる実習生の皆さん

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます